

根を張りたい

—文化祭の中止を機に—

町財政の苦しいやりくりのアオリを食つて、公民館の本年度事業は大ダメになつた。その主なものは、本紙公報が一ヵ月おきの発行になった事、文化祭が取り止めになつた事、町民運動会が中止になった事等である。その一つづきどもがみんな愛着のある「文化祭」に至つては、文化協会創立以来、連年続かれて来て、町の年

ものばかりである。その通りだと思う。この話を聞いた一有識者は「何か方法がある」と云う事で打ち切る。それを今年は「予算が無い」と云う事で止めるのである。

中行事として不可欠の存のである。その時そのうやうや次第では金を止めようとは考えもしないといふ事である。この話は「何か方法がある」と云う事で止めたが、兎に角誰もが集める事も出来るのは惜しい事である。その一つづきどもがみんな愛着のある「文化祭」に至つては、予定された金はなかった。

文化協会時代には決してあり得ない事である。その通りだと思う。

町財政の窮乏に應えて公氏館予算も大縮減の止むなきに至り、本年度事業として予定されていたものもそれゝ中止、又は縮少せねばならぬ事になった。その主なものが次の通りである。

一、文化祭（中止）
二、町民運動会
全町奉行分は中止
代りに各部落で行う
三、館報の発行
毎月発行を隔月とする
四、駅舎え付け新聞雑誌
の廢止
駅舎付け分を取止め
代りに国書室充実の爲
大体以上が主なものであ
予算が縮少された
新しく二万円を計上
と云つても、事業の上で
は層一層充実されたもの

五、青少年表彰の中止

六、館報の発行

七、駅舎え付け新聞雑誌
の廢止

駅舎付け分を取止め

代りに国書室充実の爲

又昨年の夏開設以来、利

用者の上昇増加をみてい

る図書室は、新しく予算

を組込まれて、來年度以

降は愈々本格的なものに

仕上がるよう、準備態勢

を整えている。

公館が眞の「町民の茶

の間」として活動できる

よう町民皆さんのキビシ

い／＼お寄せ下さるよう

館長以下、各委員は切望

している。

◇ ◇ ◇

この機会に、公民館入口

曾ノ木原頭に於ける小須

戸健兒の審斗は目覚しく

意氣天を突くの概あり、

優勝は誰の頭上に輝く

かは最期まで興味がかけ

られた。

輪をかざし、電灯籠の

町へ凱旋した。

此の日の成績左の如し

総合（男女）第三位 千六百難走

三位 松尾健一 大森守夫

二位 佐藤明郎 吉田修哉

二〇K 四位 森田喜代治 五十嵐猛雄

五百五位 横山セイタ 二百五位 吉田修哉

走高跳 五位 川瀬ヨネ 三種目 六位 池田政廣

走高跳 六位 小泉金一 七位 小林政廣

走高跳 六位 小泉金一 七位 小林政廣</p

